

U-ホーム

U-Home

だより

〒708-1222
岡山県津山市西中 329-1

株式会社 **U-ホーム**

TEL 0868-36-4372

FAX 0868-36-4498

✉ u-home@mx1.tvt.ne.jp

第 64 号

気づけば今年も残りもうわずかとなってしまいました。
政府の発表によると、『2016年の日本経済は、緩やかな回復基調が続きました。』ということです。

県北のこの地に居ると、「緩やかな回復基調? いったいどこが?」と言いたくなりますが、確かに輸出関連大手企業では、円高の恩恵もあり非常に好調なのも事実です。

面白い統計が出ていました。東京都23区の区別在住者の平均年収ランキングで、トップの港区では在住の会社員の平均年収が、なんと902万円もあるということです。

「麻布」「白金」「青山」といった超リッチなところに住む人たちは、信じられないくらいの収入があるということでしょう。ちなみに23位は足立区の324万円ということでした。

停滞している地方経済を尻目に一部の超優良企業が、日本経済の平均値を押し上げ、結果全体の収支が緩やかな景気回復を示しているのだとしたら、なんか釈然としない思いです。



安倍首相は28兆円超の経済対策をしてアベノミクスを推し進めると明言しました。しかし、日本は先進国の中では最も急に「少子高齢化」が進んでいる国、これではどんなに景気対策をしても「焼け石に水」、経済成長は見込めない。まず少子化対策。どんなに巨額になろうとも少子化対策を真剣に、早急に取り組むべきだと、政治家でもない私は素人なりに思うのですが・・・。

政府はこの急激な少子化を、「21世紀の国民生活に、深刻かつ重大な影響を及ぼす、有史以来の未曾有の事態」と考え、少子化担当大臣を定め、少子化対策基本法を制定し、これに基づく「少子化対策大綱」を平成16年と平成22年そして今年と三回閣議決定しています。早急と言っておきながら、すでに10年以上の期間が流れていますが、その間何か成果があったの? (もちろんこの場合の成果といえば人口増加だと思うのですが)

(以下は私的意見なのでどうぞ読み飛ばしてください)

「平成27年の少子化対策大綱」を見てみると、いかにも通り一遍のきれいごとが並んでいます。しかも数値目標は、今年中にとか来年には、ではなくて平成31年までだし、子育て支援関係の数値目標はあっても、人口を何人増やしますという具体的な方策も目標も無い。

「子供が一人生まれるたびに『お祝い金100万円』差し上げます。」なんて楽しいんじゃないでしょうか。1兆円あれば100万人の人口増加が望めるんだけど。

そもそも、男女共同参画社会とか言って「女も働け」などと言いながら、他方では保育所を増やすなど子育て支援をしてやるから「女は子供を生め」と言っているようなもので、冷静に考えるとそりゃもう無茶苦茶です。

積極的に社会進出したい女性は別として、子育てのために泣く泣く働きに出なければならない女性を無くすように、なんとかお父さんの給料だけで家族みんなが暮らせるような方策を考えることが、少子化対策としてはより有効だと思うのですが・・・。(以上、独り言でした。) おそらくこのまま加速度的に少子高齢化は進んで行くのでしょうかね。

願わくば、約4年先の東京オリンピックに向け東京へ東京へと人手も資材もさらに集中する中、オリンピック景気や東北の震災復興景気から取り残された西日本が、人手・資材不足や資材高騰の「あおり」だけを受ける、ということにならないことを祈るばかりです。

今年の重大ニュース

昨年末、あるマスコミが「今年の重大ニュース」は何ですか？という調査をしました。おそらく東京の新橋あたりで会社帰りのビジネスマンを中心にアンケートをしたのでしょう、次のような結果となっていました。

- 1位 次期アメリカ大統領にトランプ氏
- 2位 大地震（熊本地震・鳥取地震）
- 3位 天皇陛下の生前退位
- 4位 高齢者の運転事故多発
- 5位 東京オリンピック会場問題

・
・
・

その他には、築地移転・豊洲新市場盛り土問題、韓国大統領不祥事、リオオリンピック開催、ポケモンGoが流行、広島東洋カープが25年ぶりに優勝、相次ぐ乳幼児虐待死、などなど。

次回の東京オリンピックを開催する国にしては、あまりに低調なリオオリンピックだったと思うし、ポケモンGoは運転中のゲームによる事故など、新たな社会問題を引き起こしたし、明るいニュースといえば、30年前からカープファンである私にとって「カープが25年ぶりに優勝」したということくらいでしょうか。

「東京オリンピック会場問題」、「築地移転・豊洲新市場盛り土問題」、「東京都知事の動向」などはほぼ毎日のようにニュースで流れますが、こうも毎日となると耳にタコができるような気がして、特に東京都の問題などはこちらにはあまり関係がないから全国ニュースではなくローカルニュースで流してよ！と言いたくなります。

人の想いのなんとはかないことか、このあたりでも震度4を記録した鳥取中火地震をはや過去の事と思ってしまう。未曾有の大災害だった熊本地震をもうずいぶん昔の事のように思ってしまう。特に地震はいつどこで起きるか分からない、だからいつ起きてもいいように、大災害の教訓を常に心の隅にとどめておかなければならないのにそれすらすぐに忘れてしまう。『災害は忘れたころにやってくる』、昔の人はうまいことを言ったもんだ。

次期アメリカ大統領のトランプさん、良しにつけ悪しきにつけ来年の台風の目になることは間違いありません。おそらく来年の日本経済の明暗はこの人に左右されることでしょう。

今年もたくさんの「乳幼児虐待死」が報告されました。本当にむごいことです。ほとんどのニュースが今年限りなのに対して、このニュースは毎年繰り返されています。精神的に成熟していない親が引き起こすこのような事件が起きないように、子供のころから、家庭や学校や社会でサポートしてゆかなければならないような気がします。

『痛い痛い飛んでいけ！』

医療機器メーカーのテレビCMで、「痛い痛い飛んでいけ！」という意味の言葉が日本ばかりでなく、いろいろな国にもあるということをやっていました。

これは、転んだりして怪我をして泣いているわが子に対して、痛みを少しでも取り除いてやりたい気持ちからでた言葉で、親が子を思う気持ちはどこの国でも同じなんだということがわかります。

年末になり風邪やインフルエンザが流行ってきました。医院では熱が出てしんどそうなお子様に、心配そうに付き添う多くの母親の姿をみていると、昔のことが思い出されました。

私は中学生くらいまでは非常に体が弱く、しょっちゅう風は引くは、インフルエンザにも毎年のようにかかっていました。いったんそれらに掛かると非常な高熱が出ました。私が熱にうなされると、母は一生懸命看病してくれました。車の無い時代、山間部で近くに医院も薬局もない所でした。わが子が苦しんでいるのに、なす術のない母は本当に辛かったらうと思います。添い寝をして、私が眠れるまで延々と身体をさすって、そして歌ってくれました。「・・・・進ちゃんのえらい（しんどい）のを・・・・山の神様がやってきて・・・・持って行ってくれる・・・・」。私が小さかった頃のことで、もう忘れてしまいましたが、こんな感じの内容でした。



これにより気持ちが安らかになり、寝付くことができたのを覚えています。
「プラシーボ効果」と言^{きとうし}って、昔の祈祷師が行うき祈祷によって病気が快方に向かったり、
医者^{せいろうがん}に「大丈夫です!」「良くなります!」と言ってもら^{せいろうがん}うと体が楽になったり、万能薬と
信じている人が正露丸を飲んで風邪が治ったりすることを言います。

「痛い^{せいろうがん}の痛い^{せいろうがん}の飛んでいけ!」にも同じような効果あると思います。また、親の「痛い^{せいろうがん}の
痛い^{せいろうがん}の飛んでいけ」という行為により、子は親の愛情を再認識し、安心することで脳内に
エンドロフィンが分泌されるため、不安から逃れ、痛みを間接的に和らげることも知られ
ています。身体を「さする」という行為も同じような効果があるとされています。

先にも書きましたが、今年も幼児虐待死が相次ぎました。食べ物を与えられずにやせ細っ
て、それでもママ、ママとすぐる子供部屋に閉じこめ、食べ物を与えずに餓死させてしまう。
これはもう人間の所業ではありません。「痛い^{せいろうがん}の痛い^{せいろうがん}の飛んでいけ!」の気持ちを次の世代
につなげていくのも私たちの使命ではないでしょうか。

紅葉狩り

全国人気ランキング1位の神社で、正月3が日で270万人の人出があるという京都の
伏見稲荷を「怖いもの見たさ」で、今年の1月1日に見に行ったことを『ユーホームだより
第60号』に書きました。今回は「怖いもの見たさ 第二弾」で京都の紅葉ランキング
(京都観光調べ)第1位の東福寺に11月20日に行ってきました。

紅葉の時期1か月間に約40万人の人出、ピークには1日で3万5千人の人出というす
ごい数字です。東福寺は溪谷・洗玉澗に掛かる通天橋^{ぎよくせんかん}から見下ろす2000本のモミジが
見事なことで有名ですが、その通天橋上でのあまりの混雑のために、落下などの危険が予
測されるため、今年の紅葉シーズンは橋の上での撮影が始めて禁止された、とニュースで
流れました。それは凄い!、いったいどれほどの混雑なんだ!
ということで見てきました。

拝観料を支払うところも、臨時仮設の窓口を増やしていても
支払いに40分程度は並ばなければならない、とネットにでて
いたのですが、朝早いうちということで、並ぶことなく入場で
きました。

しかし、入場直後左側の通路にはいったいどこまで続いている
の?という人の列。仕方がないから後ろに並びます。数分経って
も一歩も前に進みません。右側の通路には人影はまばらです。有
名な通天橋を通るためには、入口からいったん谷底まで降りて、
向こう側の斜面を登り、そして通天橋を通して戻ってくるという
道のりのようです。このまま並んで待っていたので何時間かかる
かわかりません。しかたなく列を離れて右側の通路の方に向かい
ました。そして、これこそが人間の本質によるものだということ
が判りました。(以下次号に続く)

平成28年12月25日



左側通路の最後部



左側通路の先端部